



< 審判指導チェックシート 改訂版 >

(1)ゲーム 管理・運営 (モダンハ ンドボール の理解)	両審判員、T0が立会いのもとトスを実施。メンバー表、登録証の確認。 ユニホームの選択は適切か	
	ゴールやゴールネット、ボールの確認を行ったか。定刻でのスローオフか	
	コート上での立ち姿、振る舞い、選手・役員とのコミュニケーション	
	ペアで同じ種類の黒い笛を使用しているか。口にくわえたまま観察していないか	
(2)連携	オフィシャルとの連携・得点、公示時計の管理	
	役割分担は明確であるか(ペアの領域を判定していないか)。ペア間のバランス。	
	差し違えた場合、必ず①タイムアウト ②ペアで協議をしているか	
(3)ゲームの 理解	コート上の安心・安全は確保されているか	
	アドバンテージが正しく判定されているか	
(4)1対1の 局面	8の4「即座に2分間退場」を見極めているか。 「ハードプレー」と「ラフプレー」は見極められているか	
	プロボケーション・シミュレーション・オーバーリアクションへの対応	
(5)攻撃側の 違反	違反を見逃していないか、探していないか。正しい防御活動を認めているか。 明確なボディーランゲージで基準を知らせているか。など	
(6) 7mスロー	防御側プレイヤーの位置関係から明らかな得点チャンスを見極め、適切に7mスローを判定しているか。ノーゴールキーパー時の状況は整理できているか。など	
(7)違反	違反を正しく判定しているか。明らかな得点チャンスを妨害され着地してシュートした場合は、7mスローに戻しているか。など	
	各種スローが正しく実施されているか。3mの距離を観察。修正後の処置。など	
(8)時間の管 理(モダンハ ンドボール の理解)	パッシブプレーの基準は統一されているか	
	「ウォーキングハンドボール」を認めていないか	
	不要なタイムアウト(チェンジボール・エリア内にモップを入れるタイミング)	
	負傷者への対応は適切であったか	
	警告判定の際、タイムアウト。得点後にイエローカードを出していないか	
(9)動き ・位置取り ・ジェスチャー	コート上の選手とボールから目を離していないか。判定後、選手とボールの動きを確認してから、次の行動に移っているか。走法に問題はないか。	
	ゴールレフェリーの際に同じ位置に立ち続けていないか(基本位置は6mラインとゴールポストの間)、状況に応じて素早く移動できているか	
	7mスロー時コートレフェリー：スローアの利き腕側・GKを観察できる位置か	
	得点合図の後に、位置を交代していないか。バックステップで動いていないか	
	GKなしでの攻撃(6人or7人)で、審判の位置取りは妨げになっていないか	
	手順は正しいか ①笛 ②方向指示 ③ジェスチャー(必要に応じて) ④ボディーランゲージ	
	退場を判定の際、 ①タイムアウト ②ジェスチャー14 になっているか	
	正しいジェスチャーを用いているか。 ※罰則や7mTを判定した後は、はっきりと1回	
所属		レフェリー名

